



北海道知事登録卸 北海道第3号

函館米穀株式会社

代表取締役 今井 定一

〒040-8581 函館市万代町20番28号
TEL:0138-45-5121 FAX:0138-45-4823
ホームページ: www.hakodate.or.jp/beikoku/
メール: hakobei@olive.ocn.ne.jp

(広告掲載: 今井 定一 会員)

◎ 5月8日出席報告

会 員	51名	出席率対象会員	49名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	28名	当日欠席	21名
他クラブ出席	9名	出席合計	37名
出席率	77.08%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話23-2377番

次回・6月5日
プログラム

「海上保安業務について」

函館海上保安部 部長 函館港長 上原 伸之 氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2001~2002年度 国際ロータリーテーマ
国際ロータリー会長 リチャード D. キング

人類が私たちの仕事 MANKIND IS OUR BUSINESS

薮下 義晴 会長テーマ 『楽しみと親しみのある出会い・そして感動』



5月22日夜間例会兼クラブアッセンブリー 小笠原 孝 会長エレクト

《第1873回例会》 第43号 5月29日(水)

本日のプログラム

「森林と人間の関わり、森林の機能について」

北海道森林管理局 函館分局長 松井 正 氏

★会 長 薮下 義 晴 ★幹 事 藤野 明 信

例会場: 函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 事務局: 函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

◎司 会 薮下 義晴 会長 ◎斉 唱 手に手つないで

◎会長報告 薮下 義晴 会長

- R I 理事の板橋さんより、現在の会員数のままですと日本だけ減少になってしまうので、各クラブにおいて5月・6月中に1名の純増をお願いしたいとの書簡が来ております。皆様のご協力をお願い申し上げます。
- 小林ガバナーエレクトより松見会員へガバナー補佐並びに増強委員会委員の委嘱状が届きましたので伝達致します。

◎幹事報告 増田 定雄 副幹事

- 他クラブ例会変更；5月31日函館五稜郭R.C. は移動例会に変更です。
- 6月12日午後6時30分より次期委員長会議を開催します。当日までに活動報告書の提出をお願いします。

◎親睦活動委員会 成田 豊 委員長

ニコニコBOX投入報告

- 薮下会長……2人目の孫が生まれました。
- 伊藤会員・森 会員・松見会員・大和会員・小笠原会員・田畑会員・増田会員……BOXに協力。
- 紫前会員……5月の花が咲きました。
- 松橋会員……観光協会より観光功労賞をいただきます。
- 高野会員……結婚祝の花ありがとうございました。

◎クラブアッセンブリー

薮下会長より三つの案件について会員の意見を聞きたい旨紹介があり、各案件について説明がなされた。

① 小笠原委員より「ガバナー月信」会員講読についての提案がなされた。

その内容は、現行は役員・理事・委員長に配布。その費用3,500円/年は北R.C.で負担。今後の予算事情や講読によりロータリーについての知識が深まる事、地区内のニュースに接する事が出来る事、ガバナーのメッセージを把握できる事等を総合的に勘案して、全員購入する方向で考えたい。費用負担は部数が増加する事により個人負担1,000円/年程度、会負担が200円/年程度となる見込み。

これに対して薮下会長はじめ小池、松見、伊藤、藤田、山下、柴崎、松橋各会員から必要性・費用負担・コストダウン・期間等について意見が述べられた。

結論としては、6月に開催されるガバナー、ガバナー補佐会議に「全員講読の方向とするが、コストダウン努力と次年度限りとする」旨報告することとした。

② 松橋委員よりクラブ奨学会についての現状説明がなされた。

その内容は、最近の奨学生の印象(礼節に欠けていないか等)・奨学金(10,000円/月)の妥当性、人選方法等で、疑問に感じる部分もあるのでクラブメンバーの意見を聞きたいという事であった。

これに対して薮下会長はじめ小笠原、森、石橋、高野各会員から人選方法・奉仕活動の観点からの関わり、奨学金に対する考え方等の意見が述べられた。

本日の意見を参考に継続の方向で現在の問題解決を図っていく事となった。

③ 薮下会長より「七重浜洞爺丸慰霊碑の清掃奉仕」を年1回実施しているが、これについての会員意見を求められた。

これに対して西尾、松橋、森、藤田各委員から、よく手入れされている現状から年1回の清掃奉仕の意義・他に代わるべきものがあるのかどうか・当初の原点を忘れるべきでない・継続する事の重要性等の意見が述べられた。

これを受け薮下会長から、本日の意見を参考に継続の方向で進める事としたい旨説明がなされた承された。